

2019年 川崎市10大ニュース候補一覧

(令和元年)

January
1月

1.富士通フロンティアーズがライスボウル3連覇

アメリカンフットボール日本選手権「ライスボウル」において、社会人代表の富士通フロンティアーズが学生王者の関西学院大学を下し、3年連続4回目の日本一に輝きました。

2.横浜市営地下鉄3号線の新百合ヶ丘駅延伸が決定

湘南台駅とあざみ野駅をつなぐ、横浜市営地下鉄ブルーラインの新百合ヶ丘駅までの延伸が事業化されます。川崎市北部と横浜市、多摩地域を結ぶ新たな鉄道ネットワークの形成や新横浜駅へのアクセス機能の強化を図るため、令和12(2030)年度の開業を目指して横浜市と連携して整備を進めていきます。

February
2月

3.議会のバリアフリー対応の強化～AIを活用したリアルタイムの見える化～

障害者や高齢者等、聴き取りが困難な方がいつでも傍聴しやすい環境を整備するため、議場に音声認識システムを導入しました。AIを活用した音声認識システムによる傍聴者向けモニターへのリアルタイム表示は、全国で初めての取組となります。

4.日本初！EVごみ収集車を導入

ごみ焼却施設でごみを焼却した際に得られる蒸気での発電を活用した「エネルギー循環型ごみ収集システム」による、EVごみ収集車（電池交換型）を日本で初めて導入しました。導入したEVごみ収集車は、川崎区のごみ収集に使用しています。

5.新・動物愛護センター「ANIMAMALLかわさき」が中原区にオープン

中原区に、動物愛護センター「ANIMAMALLかわさき」がオープンしました。動物愛護団体やボランティア、獣医師会など多くの人たちと協力しながら、「いのちを『まなぶ』『つなぐ』『まもる』」をテーマに、命の大切さを学ぶイベント、動物の保護やケア、新たな飼い主につなぐ譲渡会などを行っています。

6.川崎フロンターレがFUJI XEROX SUPERCUP 2019で初優勝

Jリーグのシーズン開始を彩る「FUJI XEROX SUPERCUP 2019」で、川崎フロンターレが浦和レッズを1-0で破り、初優勝を飾りました。



かわさが好きになるツイッター

川崎市の気になる話題やなるほど情報、
10大ニュースに関連した情報も発信しています！

川崎市シティプロモーション推進担当 @kawasaki_pr



March

3月

7.川崎区出身友風関が県内出身力士として24年ぶりの新入幕

川崎区出身の友風勇太関（尾車部屋）が、県内出身力士として24年ぶりの新入幕を果たしました。令和元年名古屋場所では、年6場所制となってから最速に並ぶ初土俵から14場所目で金星を獲得して殊勲賞を受賞するなど、今後の活躍が期待されます。

8.小田急線登戸駅がドラえもののキャラクターで装飾

「藤子・F・不二雄ミュージアム」の最寄り駅である小田急線登戸駅が、「ドラえもんたちのいる すこしふしぎな駅」をコンセプトに、「ドラえもん」のまんがの世界に入り込んだような空間に装飾されました。ドラえもんの等身大フィギュアやどこでもドア型のデジタルサイネージなど、「ワクワク感」を感じられる駅となっています。

9.京急大師線の産業道路駅が地下駅に

京急大師線の小島新田～東門前駅間の約1kmが地下化され、産業道路駅が地下駅として再オープンしました。交通量の多い産業道路を交差する踏切を含め、3か所の踏切が解消され、渋滞緩和等が期待されます。また、産業道路駅は、駅近くで多摩川に架かる大師橋の名称を取り入れ、令和2（2020）年3月に大師橋駅に名称変更されます。

10.伝統野菜「のらぼう菜」を改良した新品種が、川崎市初の品種登録

川崎市の伝統野菜「のらぼう菜」から誕生した新品種「川崎市農技1号」が品種登録されました。川崎市では品種登録第1号になり、県内市町村でも初の事例となります。

11.起業家を支援する「Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC)」、川崎駅前にオープン

川崎市は、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構）と共同で、起業にチャレンジする方を支援する拠点を、音楽ホールのあるミューザ川崎隣接のセントラルタワー内に開設しました。

12.宮前区役所・市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転方針をまとめる

宮前区役所・市民館・図書館を鷺沼駅周辺に移転する方針などをまとめた「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定しました。市民館・図書館については令和7（2025）～令和8（2026）年度、区役所については令和10（2028）～令和12（2030）年度の完成を、それぞれ見込んでいます。

April

4月

13.武蔵小杉に小杉小学校が開校。児童数373名でスタート

武蔵小杉駅周辺の人口急増を受け、川崎市としては11年ぶりとなる新設小学校として、JR 武蔵小杉駅そばに、川崎市立小杉小学校が児童数 373 名でスタートしました。

14.川崎市初の合葬型墓所が緑ヶ丘霊園に完成。内覧会大盛況

少子高齢化の進展などによる価値観の多様化に伴い、様々な形式の墓所が求められる中で、高津区の緑ヶ丘霊園内に約 2 万体の埋蔵が可能な川崎市初の合葬型墓所が完成しました。5～6月に実施した内覧会には 2,000 人を超える人が参加し、日程を追加するほどの大盛況となりました。

15.川崎市の1人1日当たりのごみ排出量が政令指定都市最少に

資源物の分別収集の推進や、市民・事業者の長年にわたる日々のごみ減量の取組により、平成 29 年度の 1 人 1 日当たりのごみ排出量（834g）が、政令指定都市の中で最も少ないという結果が発表されました。

16.「藤子・F・不二雄ミュージアム」来館者350万人突破！

1月に2階みんなの広場が大リニューアルした藤子・F・不二雄ミュージアムは、4月28日に平成23（2011）年9月の開館からの来館者数が350万人を突破しました。350万人達成セレモニーでは、記念品として、藤子・F・不二雄大全集『ドラえもん』全20巻セットをはじめ、1/2サイズのドラえもんフィギュア、複製原画、ミュージアムオリジナルグッズなどが贈呈されました。

17.「令和婚」が797件、5/1の婚姻届受付件数が去年の20倍

令和元年初日となった5月1日には、令和初日に結婚届を提出する「令和婚」をめざして多くのカップルが区役所を訪れました。川崎市に提出された婚姻届は去年の約20倍となる797件に上り、区別で最多となった中原区（203件）では、1日の取扱件数の最高記録を更新しました。

18.川崎市の人口が政令指定都市第6位に

大正13年の市制移行時に約5万人、政令指定都市移行後の昭和48年に100万人だった川崎市の人口は、5月1日に152万6,630人となり、神戸市を抜いて政令指定都市20都市中第6位になりました。

川崎市の人口：約5万人（大正13年）⇒100万人（昭和48年）⇒150万人（平成29年）

19.多摩区登戸で刺傷事件が発生

多摩区登戸新町において、通学中の児童ら多数の方が被害に遭う刺傷事件が発生しました。川崎市では、子どもたちが安全で安心して暮らせる地域社会を実現するために「地域」「警察」「行政」で情報を共有化し、連携を図りました。

May

5月

June

6月

20.「(仮称)川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」を提案へ

「あらゆる差別を許さない」との決意を持って、不当な差別を根絶していくことを目指す「(仮称)川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」素案を公表しました。全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを推進していくための条例の制定に向けて、取組を進めることになりました。

July

7月

21.川崎市の高いポテンシャルなどが国から評価され、「SDGs未来都市」に選定

様々な課題を市民や事業者等と解決してきた歴史と持続可能な社会を実現するための取組が国から評価され、「SDGs 未来都市」に選定されました。SDGs の達成に向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働し、「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまちかわさき」をめざした取組を推進します。

22.「世界最高のホールのひとつ」と絶賛されるミュージア川崎シンフォニーホールが開館15周年

JR 川崎駅西口に隣接し、優れた音響を誇るコンサートホール「ミュージア川崎シンフォニーホール」が7月1日に開館15周年を迎えました。10月には市のフランチャイズオーケストラである東京交響楽団と音楽監督ジョナサン・ノット指揮による15周年記念公演「グレの歌」を開催し、11月にはウィーン・フィル、ベルリン・フィルなど世界に名だたるオーケストラが登場しました。

23.望月慎太郎選手がウィンブルドン・ジュニア選手権に初出場初優勝

川崎市出身で中学1年から米国を拠点に活動している望月慎太郎選手が、テニスのウィンブルドン・ジュニア選手権に初出場で優勝し、国際テニス連盟(ITF)ジュニア世界ランキングでも1位となりました。

24.川崎駅前に「川崎浮世絵ギャラリー」のオープンが決定

今年12月、川崎駅北口から直結の「アートガーデンかわさき」内に、浮世絵の常設展示室「川崎浮世絵ギャラリー ～斎藤文夫コレクション～」がオープンします。ギャラリーでは、「東海道五十三次」や「富嶽三十六景」といった誰もが知る名品から、川崎や神奈川ゆかりの作品まで、多彩な浮世絵をテーマに沿った展示でお楽しみいただきます。

25.科学技術の体験イベント「キングスカイフロントウィークス」が初開催

川崎区殿町のオープンイノベーション拠点・キングスカイフロントにおいて、世界最高水準の科学技術を大人も子どもも体験できる見学会・イベント「キングスカイフロントウィークス」を初開催しました。特に8月1日の「夏の科学イベント」には小学生親子を中心に2,500名の方が来訪されました。

26.川崎市が4年連続で政令指定都市唯一の普通交付税不交付団体に

川崎市は、国からの普通交付税交付金に頼らずとも自力で財政運営ができるとされる不交付団体に、4年連続で政令指定都市で唯一決定されました。市の持続的な発展を目指し、引き続き適切な財政運営に努めていきます。

27.等々力陸上競技場で感覚過敏の子ども向けスポーツ観戦イベントが開催

企業、団体等と連携し、発達障害による感覚過敏の子どもを対象とした、日本初となる「サッカー&ユニバーサルツーリズム」を等々力陸上競技場で実施しました。センサリールーム（音や光などの刺激を抑え、感覚過敏を抱える子どもたちでも安心して観戦できる特別エリア）でのスポーツ観戦は国内初となります。また、川崎市は「かわさきパラムーブメント」と英国チームの事前キャンプ受入れの取組が評価され、「先導的共生社会ホストタウン」として認定されています。

28.国際交流センターの外国人相談窓口の対応言語がベトナム語・ネパール語など11言語に拡充

多文化共生社会の実現に向けた取組として、川崎市国際交流センターの外国人相談窓口を拡充し、11言語で情報提供・相談を行う一元的相談窓口「多文化共生総合相談ワンストップセンター」を開設しました。

29.川崎ブレイブサンダースの篠山選手、ファジーカス選手が、バスケットボール日本代表に選出

「FIBA バスケットボールワールドカップ 2019」において、川崎ブレイブサンダースの篠山竜青、ニック・ファジーカスの両選手が代表メンバーとして選出され、活躍しました。また、9月から、ホームタウンスポーツ推進の一環として、市バスと地元のプロバスケットボールチームである川崎ブレイブサンダースとのコラボレーションにより、川崎ブレイブサンダースのラッピングバスを運行しています。

30.桐光学園が全国高校総体男子サッカーで市内高校として初優勝

川崎市内の高校としては初めて、全国高校総体男子サッカーで桐光学園が優勝を飾りました。同高は、冬の全国高等学校サッカー選手権も含め、男子サッカーでは初の全国制覇となります。

31.川崎生まれのハーブペッパー「香辛子」を使った商品が続々発表

川崎市内にある味の素㈱の研究所が開発し、29軒の川崎市内農家が生産した「川崎生まれのハーブペッパー「香辛子」」の販売が開始されました。フルーティな香りで辛みが弱く体に優しく生で食べられる香辛子を使用した市内企業による新商品の販売も開始されました。



32.川崎市で初めての区内指定避難所の一斉開設訓練を実施

実際の災害発生を想定した「より実践的」な訓練を行うため、川崎市では初めての区内の指定避難所の一斉開設訓練を実施しました。この訓練では、幸区の全 22 か所の指定避難所を一斉に開設し、防災関係機関と連携した運営訓練を行いました。

33.川崎駅東口広場にストリートピアノが登場！

川崎駅東口駅前広場において、「広告物社会実験」と「社会実験フェス」を開催しました。川崎のイメージアップにつながる情報を発信する広告塔の設置や、気に入った本と自分の本を交換できる図書スペース、誰でも自由に演奏できるストリートピアノ、キッチンカーやソファ・ベンチなどが設置され、多くの人たちでにぎわいました。

34.地域の保育と子育ての拠点となる「川崎区保育・子育て総合支援センター」がオープン

保育所と地域子育て支援センターが1つの建物に入り、新たな機能をもつ「保育・子育て総合支援センター」が9月17日に川崎区に開設されました。新たに一時預かり保育等を開始し、保育士・栄養士・看護師による子育て家庭への支援や保育関係施設との連携・人材育成など、「保育と子育ての一体的な事業推進拠点」を目指し取組を進めています。

35.川崎市のPR動画をYouTubeで広告配信し、世界で1,470万回視聴を達成！

世界における川崎市の魅力度向上を図るため、川崎市内の観光スポット等の魅力を紹介したPR動画を制作し、YouTubeで情報発信を行い、14日間の動画視聴回数が1,470万回を達成しました。（「kawasaki 8k」で検索！）



36.ふるさと納税の返礼品を大規模拡充

川崎の魅力発信やイメージと寄附額の向上をめざし、川崎フロンターレのサイン入りユニフォームや川崎ブレイブサンダースの特典付き観戦チケット、川崎工場夜景タクシープラン、川崎をイメージした焼き菓子など、ふるさと納税の返礼品として「観る」、「体験する」、「味わう」の各分野で川崎を体験できる145品目を設定するとともに、民間専用サイトによる寄附受付を開始しました。

37.第78回川崎市制記念多摩川花火大会が今年も秋に開催

第78回川崎市制記念多摩川花火大会が高津区の高津川河川敷で行われました。夏季の集中豪雨や落雷の多発を踏まえ、来場者の安全・安心を最優先にするために、昨年からの天候が比較的安定している秋開催へ変更しています。対岸の世田谷区たまがわ花火大会も同時に開催され、約1万2千発の花火が秋の夜空を鮮やかに彩りました。

38.台風19号により川崎市に大きな被害

過去最大級の勢力で日本列島に上陸し、各地に大きな爪痕を残した台風19号により、川崎市にも大きな被害がありました。被災された市民の皆様が一日も早く日常の生活に戻れるよう、引き続き取り組んでいきます。

39.地域の寺子屋50か所目が開講

シニア世代をはじめとする地域の幅広い世代の方々と協働して、地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートする「地域の寺子屋事業」において、10月16日に岡上小学校で記念すべき50か所目の寺子屋が開講しました。市では更なる寺子屋の開設に向けて、地域の寺子屋推進フォーラムや寺子屋先生養成講座、コーディネーター養成講座なども開催しています。

40.日本最大級のハロウィンイベント「カワサキハロウィン2019」が開催

日本最大級のハロウィンイベント「カワサキハロウィン2019」がJR川崎駅周辺で開催されました。23回目の今年は、「新時代への挑戦」をテーマに、未来ある若手クリエイターやパフォーマーを積極的に起用するとともに、新企画として「工場夜景ファミリークルーズ」を開催するなど、新たな時代の幕開けを象徴する「カワハロ」となりました。

41.川崎フロンターレが激闘を制しJリーグYBCルヴァンカップで悲願の初優勝

2019JリーグYBCルヴァンカップで、川崎フロンターレが悲願の初優勝を飾りました。フロンターレにとって2年ぶり5回目となる決勝は、北海道コンサドーレ札幌との対戦。試合は、両者一步も譲らないまま延長戦でも決着がつかず、PK戦の末、3-3（PK5-4）でフロンターレが劇的な勝利を収め、初優勝をつかみ取りました。

42.川崎市岡本太郎美術館が開館20周年

川崎市ゆかりの芸術家・岡本太郎氏から寄贈された作品を収蔵し、その芸術性を顕彰している川崎市岡本太郎美術館が10月30日に開館20周年を迎えました。美術館では20周年記念展「これまでの企画展みんな見せます！」として、7月から2月まで企画展を開催しています。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市